

## 大豆の生育状況(9月26日現在、龍ヶ崎市)

地域名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	備考
	本年	対平年遅速		
茨城県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 子実肥大期	2日早い	<p>龍ヶ崎市における8月第6半旬～9月第5半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。</p> <p><b>【気象】</b>                      気 温:平均気温は平年並であった(平年差+0.1℃、図1)。                      降 水 量:平年比95%と平年並であった(図2)。                      日照時間:平年比79%とかなり短かった(図3)。</p> <p><b>【生育】</b>                      地上部生体重は「里のほほえみ」が平年並で、「納豆小粒」ともに平年よりやや軽かった。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。</p> <p><b>里のほほえみ:</b>分枝数はやや少なく、主茎長は長く、主茎節数は多く、茎の太さ、地上部生体重は平年並であった(表1)。一株莢数は平年並で、一株莢重はやや軽かった(表1)。</p> <p><b>納豆小粒:</b>分枝数はやや多く、主茎長はやや長く、主茎節数はやや多く、茎の太さはやや太く、地上部生体重はやや軽かった(表1)。一株莢数は少なく、一株莢重はやや軽かった(表1)。</p> <p>写真1に9月26日時点の所内大豆の生育状況を示した。</p> <p><b>【注釈】</b>                      1)対平年遅速は開花期の本年値と平年値の差による。</p>	<p>●病害虫防除をこれまでに下記の通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・害虫防除: 8/5、8/12、8/23、8/30、9/9</li> <li>・紫斑病防除: 8/23、8/30、9/9</li> <li>・その他病害防除: 8/12</li> </ul> <p>○病害虫の情報や防除対策は、病害虫防除所のホームページを参照する。                      ( <a href="http://www.pref.ibaraki.jp/nnou/ri/byobo/">http://www.pref.ibaraki.jp/nnou/ri/byobo/</a> )</p> <p>○適期収穫に努める。  <b>【コンバイン収穫の目安】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子実水分18%以下 爪を立てると少し跡が残る</li> <li>・茎水分50%以下 茎が手でポキッと折れる</li> </ul>
	納豆小粒 子実肥大期	1日早い		

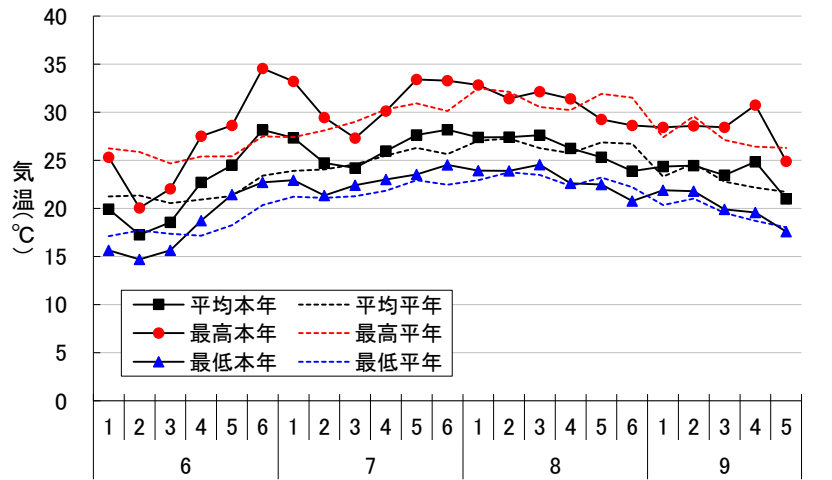


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

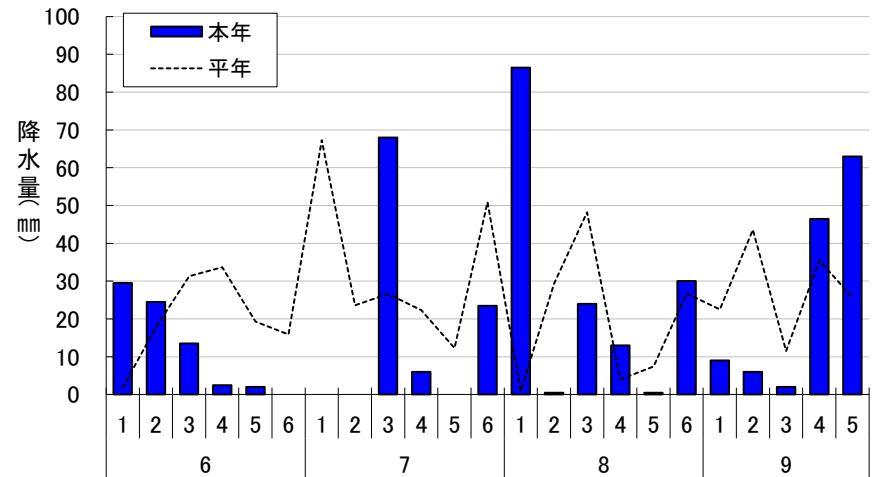


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

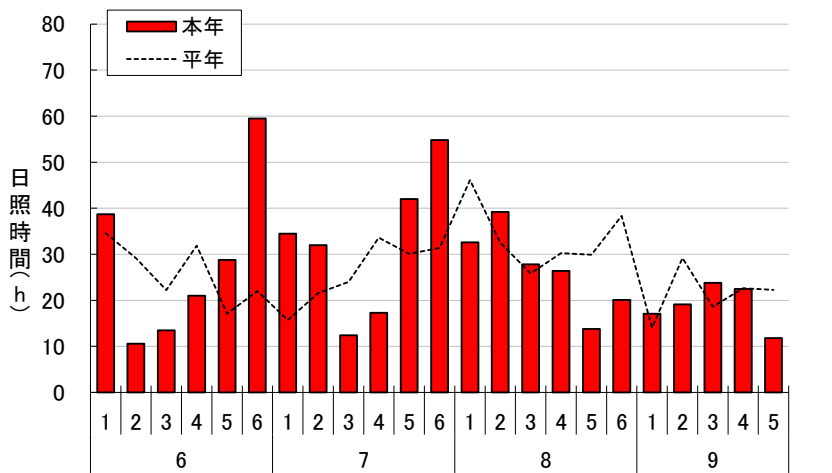


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	7.29	7.30	7.31	70.9	132	118	15.6	119	110	3.6	63	81	12.9	101	102
納豆小粒	8.06	8.05	8.07	85.5	139	114	17.7	118	107	9.7	88	111	11.8	110	107

品 種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	296.6	95	100	66.5	91	94	103.4	93	90
納豆小粒	310.2	87	94	190.2	84	85	100.0	82	93

【耕種概要】

- 圃場来歴：転換2年目（前作麦）
- 播種期：6月20日
- 播種密度：11.1株/m<sup>2</sup>（畦間60cm、株間15cm）1本立て
- 基肥：N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=0.3-1.2-1.2kg/a
- 中耕・培土：7月11日、7月20日（それぞれ子葉節、初生葉節まで実施）

【注釈】

- 生育調査は9月26日に実施
- 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

平成29年～令和3年播種の5ヵ年の平均値

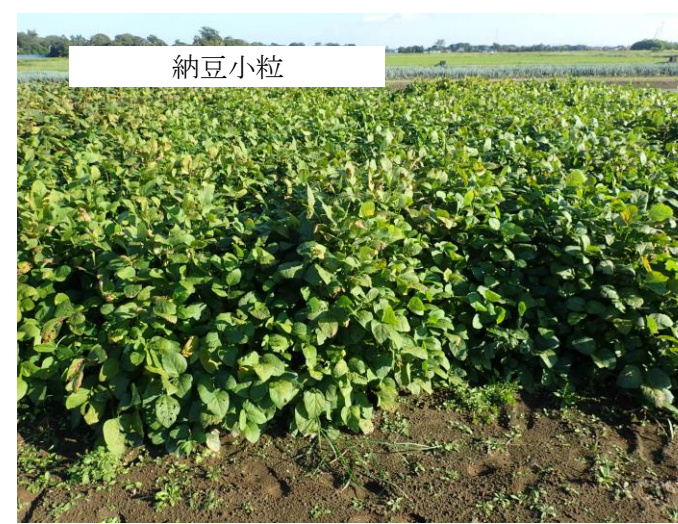


写真1 所内大豆の生育状況(9月26日撮影、左から里のほほえみ、納豆小粒)

## 気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。  
 各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。  
 さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

